



### 田中 唯登志 議員

## 災害に強いまちづくりは

### 岡崎総務課長 空振りを恐れない早めの対応

**問 防災訓練の実施は。**  
**岡崎総務課長** 住民参加型の訓練としては、平成24年に中村地区、平成25年に東上4区、平成26年に下唐原東区で実施している。また山国川の防水に係る訓練を行っており、本年5月には県の総合防災訓練が行われ当町も参加した。小中学校においては、おおむね各学年3回程度地震・災害などの避難訓練を行っている。

**問 救急救命研修の実施は。**  
**岡崎課長** 救急救命・普通救命の中に、AEDの操作も含めており、消防団員を対象に毎年行っている。

**問 地域住民を募集しての研修は。**  
**岡崎課長** AEDの操作を含めた部分は今後の検討課題である。

**問 AED設置場所及び周知は。**  
**岡崎課長** 町内公共施設としては、役場本庁支所、各小学校中学校、ゆいぎらら、げんきの杜、トレーニングセンター、多目的運動広場、コミニティセンター西吉富と唐原、大平保育所、放課後児童クラブが南と西で現在16箇所設置している。

**問 HP掲載や町内看板など設置をしてはどうか。**  
**岡崎課長** 参考にしてしっかりと広報に努めたい。

**問 災害協定の締結は。**  
**岡崎課長** 現在交わしているのは、福祉関連、ボランティアの設置、郵便局、産業廃棄物協会との協定を結んでいる。今後、町内の事業者、民間団体、NPO法人など大規模災害時の初動における体制整備に向けて協定締結を進めていく。

**問 災害に強いまちづくりは。**  
**岡崎課長** 住民の意識啓発の中で、初動においては自助と共助、地域の見守り活動を含めた災害応援。行政としては様々な危険箇所の除去に加えて早めの対応が寄与すると考える。



防災備蓄倉庫

## 買い物支援の充実は

**問 高齢者等買い物困難者支援モデル事業の実績は。**  
**佐矢野課長** 28年度はグリーンコープ生協ふくおかに委託して、6月から安雲拓心苑、唐原コミュニティセンター、さざんか荘、9月から東上集会所、吉岡公民館を追加して週1回木曜日に実施した。全体回数は184回、利用者は2646名。平均14名ぐらいで1回当たり1万1300円ほどの販売実績となっている。

**問 本家に買い物困難者支援となっているか。**  
**佐矢野課長** この事業は高齢者・障がい者だけを対象にしているのではなく、地域コミュニティの充実を図るため、どなたでも利用できるものとなっている。歩行困難で販売場所まで行けない方がいるということも把握している。

**問 宅配サービス充実しては。**  
**佐矢野課長** 29年度から道の駅しんよしとみに委託している宅配サービスは、なかなかその場に行けない人たちに利用していたければと考え、実施している。必要な方々にもっと周知が必要と思っており、自治会長、福祉委員、その地域の皆さんに宣伝・周知をお願ひし、利用者を増やしていきたいと考えている。買い物困難者支援事業も宅配サービス事業もモデル事業として実施している。今のやり方や場所が良いかなど、いろいろな形で試してみながら、福祉の充実になるよう今後も実施していきたい。



上毛町委託事業移動販売



### 廣崎 誠治 議員

## 職員が安心して働ける環境を

### 岡崎総務課長 今後の成果を見ていただきたい

**問 時間外手当の支給額は。**  
**岡崎総務課長** 平成28年が818万円、3力年で2155万8000円になっている。

**問 各課ごとの残業時間は。**  
**岡崎課長** 28年度は総務課（支所含む）605時間、企画情報課416時間、開発交流推進課90時間、税務課311時間、住民課134時間、子ども未来課208時間、長寿福祉課413時間、産業振興課577時間、建設課58時間、教務課743時間、保育所33時間である。

**問 タイムカードとの差異はないか。**  
**岡崎課長** タイムカードについては、事務の処理上、登庁、退庁時間の確認に使用することはあるが、時間外勤務命令は所属長の命令によって行っているため、タイムカードの差異の確認は必要ないと認識している。

**問 必要のないのであればタイムカードを廃止できないか。**  
**岡崎課長** 当然、事務の処理上必要な場合がある。登退庁時間の確認に使用している。ただ、時間外との連動は考えていない。

**問 振替休日取得について実績は。**  
**岡崎課長** 平成28年3月に議員より同様の質問があり、平成27年度



タイムカード

の代休取得率は約40%と答えている。平成28年中は約50%になっており改善の傾向にある。業務の都合により取得できていない職員もいる現状もある。所属長を初め職場全体での取得が促進されるよう努めていきたい。

**問 取得率が大変悪く、取得できるような職場にしないとけないかと思う。各種イベントで勤務命令を出しているイベントはあるか。**  
**岡崎課長** 町主催の行事において担当課の職員だけではスタッフが不足する場合、他課の職員に参加を要請しているが、あくまで協力をお願いしている。

**問 各種イベントなどボランティアの強要がないと答えていたが、現在もないか。**  
**岡崎課長** 以前の答弁と同じく、ボランティア活動などの強要はない。当町の職員は、郷土愛と町に対する思いが強く積極的に参加をいただいていると思う。

**問 ボランティアで参加するイベントというのは、どういうのがあるのか。**  
**岡崎課長** ボランティアでお願いしているのは、しんよし祭と灯笼祭である。

**問 灯笼祭については、昨年末までは勤務命令を出していなかったか。**  
**岡崎課長** 本年と同じく命令ではない。

**問 メンタルヘルス疾患の該当職員がいたか。**  
**岡崎課長** 現在行っているメンタルヘルスチェックは、本人に診断結果を直接通知しているので、私どもが何名という把握は行っていない。

**問 役場職員の業務は、多様化が進んでおり、職員の勤務体系、環境整備も適正に行うことが、メンタルヘルスの観点からも重要である。住民サービスを行うのは職員であり、適切な環境整備を行い、職員が安心して働ける環境づくりを構築していただく必要があるのでは。**  
**岡崎課長** 合併時より業務などが拡大しているが、職員を単純に増やすことは難しい。5S（整理、整頓、清掃、清潔、しつけ）などの研修や、意識改革などを行っている真つ最中であり、成果を見守っていただければと思う。



上毛町灯笼祭